

# 「全国財務局管内経済情勢報告概要」の主なポイント (令和5年4月判断)

財務省

令和5年4月25日

# 地域経済の全局判断（令和5年4月判断）

## 1. 全局総括判断

前回（5年1月判断）	今回（5年4月判断）	基調比較
物価上昇や供給面での制約等の影響がみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	物価上昇や海外経済の減速等の影響がみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	 据え置き (表現変更)

- 「全局総括判断」は、前回（5年1月）から判断を「据え置き」とした。

## 2. 各項目の判断

- 地域経済に関する各財務局の報告をとりまとめると、
  - 「個人消費」は、持ち直している。
  - 「生産活動」は、物価上昇や海外経済の減速等の影響がみられるなか、一進一退の状況にある。
  - 「雇用情勢」は、持ち直している。

## 3. 先行き

- 先行きについては、ウイズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

(注1)5年4月判断は、前回1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

(注2)下線部が基調判断。

## 各地域の「総括判断」の比較

	令和5年1月判断		令和5年4月判断	
北海道	<u>緩やかに持ち直しつつある</u>	⇒	持ち直しつつある	↗
東北	<u>緩やかに持ち直している</u>	⇒	<u>緩やかに持ち直している</u>	⇒
関東	物価上昇や供給面での制約の影響がみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	⇒ (表現変更)	物価上昇や供給面での制約の影響がみられるものの、 <u>緩やかに持ち直している</u>	⇒
北陸	<u>緩やかに持ち直している</u>	⇒	<u>緩やかに持ち直している</u>	⇒
東海	<u>緩やかに回復している</u>	⇒	<u>緩やかに回復している</u>	⇒
近畿	<u>持ち直している</u>	⇒	<u>持ち直している</u>	⇒
中国	<u>持ち直している</u>	↗	<u>持ち直している</u>	⇒
四国	<u>緩やかに持ち直している</u>	↗	<u>緩やかに持ち直している</u>	⇒
九州	<u>持ち直している</u>	↗	<u>持ち直している</u>	⇒
福岡	<u>持ち直している</u>	↗	<u>持ち直している</u>	⇒
沖縄	<u>持ち直している</u>	↗	<u>持ち直している</u>	⇒

各地域の令和5年4月の「総括判断」は、1地域で「上方修正」、10地域で「据え置き」

(注1) 下線部が基調判断。

(注2) 矢印は、前回との基調比較。

# 各地域の「個別項目」の比較

## 個人消費

## 生産活動 ※沖縄は「観光」

## 雇用情勢

	個人消費			生産活動 ※沖縄は「観光」			雇用情勢		
	前回 (令和5年1月判断)	今回 (令和5年4月判断)		前回 (令和5年1月判断)	今回 (令和5年4月判断)		前回 (令和5年1月判断)	今回 (令和5年4月判断)	
北海道	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	物価上昇の影響がみられるものの、持ち直しつつある	▲	弱含んでいる	弱含んでいる	⇒	持ち直しつつある	持ち直しつつある	⇒
東北	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	⇒	持ち直しのテンポが緩やかになっている	一進一退の状況にある	↓	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	⇒
関東	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	物価上昇の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	⇒	持ち直しの動きに一服感がみられる	弱含んでいる	↓	緩やかに改善しつつある	改善しつつある	▲
北陸	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	⇒	回復に向けた動きに一服感がみられる	足踏みの状況にある	↓	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	⇒
東海	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	⇒	供給面での制約等の影響がみられるなか、総じてみれば、足踏みの状況が続いている	緩やかに回復しつつある	▲	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある	⇒
近畿	持ち直している	持ち直している	⇒	持ち直している	一進一退の状況にある	↓	持ち直しつつある	持ち直しつつある	⇒
中国	持ち直している	持ち直している	⇒	供給面での制約もあって、持ち直しのテンポが緩やかになっている	足踏みの状況にある	↓	持ち直している	持ち直している	⇒
四国	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	⇒	横ばいの状況にある	弱含んでいる	↓	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	⇒
九州	持ち直している	持ち直している	⇒	緩やかに回復しつつある	回復に向けた動きに一服感がみられる	↓	持ち直している	持ち直している	⇒
福岡	持ち直している	持ち直している	⇒	一進一退の状況にある	緩やかに持ち直しつつある	▲	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	⇒
沖縄	緩やかに持ち直している	持ち直している	▲	持ち直している	持ち直している	⇒	持ち直している	持ち直している	⇒

2 地域で「上方修正」、9 地域で「据え置き」

2 地域で「上方修正」、2 地域で「据え置き」、  
7 地域で「下方修正」

1 地域で「上方修正」、10 地域で「据え置き」

# 「個別項目」の特徴的な動向

## 1. 個人消費 ※2地域（北海道、沖縄）で「上方修正」、9地域で「据え置き」

- 「スーパー販売」は、値上げに伴う買上点数の減少など消費者の節約志向がみられるものの、商品単価の上昇により売上高は増加している。
- 「百貨店販売」は、外出機会の増加やインバウンドの免税売上が回復してきたほか、3月の卒業式などのイベント需要もあり好調に推移している。
- 「コンビニエンスストア販売」は、行動制限がないことにより、観光地などでの人流が増加したことに伴い、売上は好調となっている。
- 「ドラッグストア販売」は、医薬品や食料品のほか、マスク着用が個人の判断になったことから化粧品の売れ行きが好調となっている。
- 「家電販売」は、電気料金の値上げを受け、より優れた省エネ性能の冷蔵庫や洗濯機が好調な一方、生活様式の変化でテレビなどの動きが鈍い。
- 「ホームセンター販売」は、物価上昇の影響から日用品は他業態との競合が激しく、売上が減少している。
- 「新車販売」は、半導体などの供給制約が緩和されつつあるなか、今期自動車メーカーが国内向け供給を増やしたことなどから売上が回復してきた。
- 「サービス消費（飲食サービスや宿泊等）」は、コロナ禍からの回復やインバウンド需要などにより、客数が増加している。

## 2. 生産活動 ※2地域（東海、福岡）で「上方修正」、2地域（北海道、沖縄）で「据え置き」、7地域で「下方修正」

- 「電子部品・デバイス」は、スマホやパソコン向け半導体が、海外経済の減速に伴う需要の減少により減産となっている。
- 「生産用機械」は、スマホやパソコン向けの半導体メーカーが設備投資を控える傾向にあり減産となっている。
- 「化学」は、海外の需要低迷を受け、車載向け、民生向けの製品の生産稼働率を下げている。
- 「自動車」は、足下では半導体等部品の供給不足が和らいでおり、引き続き受注も好調となっている。

## 3. 雇用情勢 ※1地域（関東）で「上方修正」、10地域で「据え置き」

- 高齢者等で、感染者数の落ち着いた1月以降に求職活動を再開する動きが見られた。
- より好条件の企業へ転職する動きが活発化している。

# 企業等の主な声

## 個人消費

### < 財消費 >

- ・ 内食需要の減少や、値上げラッシュに伴う買い上げ点数の減少・消費者の購買意欲の低下がみられるものの、客単価の上昇により売上高は増加している。【スーパー・大・関東】
- ・ 旅行や外出用の衣料などが好調となっている。インバウンドの増加に伴い、コロナ禍前の水準には至らないものの、免税売上も大幅に増加した。【百貨店・大・中国】
- ・ キャンプ効果により球場近隣は好調で、観光地周辺店舗では売上が対前年比2倍近い店舗もあるほか、住宅地周辺店舗では土日の売上の伸びが高いことから、地元客の動きも活発化している。【コンビニ・中小・沖縄】
- ・ 引き続き、総合感冒薬、解熱鎮痛剤などが好調に推移。3月に入ってからメイク用化粧品などに動きが出ており、直近では、来店客数（既存店）でも対前年比を上回っている。【ドラッグストア・中小・沖縄】
- ・ 省エネ性能が高く家事の省力化にも資する高付加価値商品の需要が高まっている一方、生活様式の変化によってテレビやレコーダーの動きが鈍い。【家電販売・大・四国】
- ・ 物価高による節約意識の影響から他業態との競合が増しており、日用品の買上点数が減少している。【ホームセンター・大・北陸】
- ・ 半導体不足等の影響が緩和傾向にあるほか、今期は国内出荷分の割合が高かったこともあり、売上台数は例年並みの水準に戻っている。【自動車・中小・近畿】

### < サービス消費 >

- ・ 催事とシネマを目的とした来場者の増加から、飲食店売上は前年を上回って推移している。【不動産・大・北海道】
- ・ 全国旅行支援や行動規制緩和による人流回復で客数、売上は増加した。韓国からのチャーター便による団体客の受入れもあった。【宿泊・中堅・東北】

## 生産活動

- ・ スマートフォンについては、海外等の景気低迷を受けた需要減速により販売台数が大きく減少しており、関連する電子部品についても受注が想定以上に減少している。【電子部品・デバイス・大・近畿】
- ・ 半導体メーカーにおいて、製造装置への設備投資を後ろ倒しにする動きがみられるなど、需要が落ち着いてきていることから生産調整を行っている。【生産用機械・大・東北】
- ・ 海外での需要の低迷を受け、車載向け製品、パソコンやスマートフォンなどの民生向け製品の稼働率を下げている。【化学・大・九州】
- ・ 足下では部品不足が和らいでおり、3月以降は例年並みの生産台数となる見込み。受注も引き続き好調。今後についても楽観視はしていないが、昨年の後半に見られたような生産台数の急激な落ち込みは当面ないのではないか。【輸送機械・大・福岡】
- ・ 自動車用エンジン部品は、国内完成車メーカー向けが回復しているものの、中国向けは年末から1月にかけて低迷し、2月以降の生産量も元の水準まで戻っていない。【汎用機械・大・関東】
- ・ 半導体不足等の影響が残っているため計画は下回っているものの、完成車メーカーからの受注は回復しており、稼働率は徐々に上昇している。今後も不透明感はあるものの、この状況が続くと見込んでいる。【電気機械・大・東海】
- ・ 完成車メーカーの生産の回復が遅れていることから、部品メーカーの在庫がだぶついており、生産が減少している。【鉄鋼・中堅・中国】
- ・ ビル用建材は動きがみられるものの、持家の着工戸数が減少傾向にあることから、住宅用建材やエクステリアの動きが鈍くなっている。【金属製品・大・北陸】

## 雇用情勢

- ・ 感染症の影響緩和や物価高などから、高齢者等の求職活動が活発になっている。【公的機関・四国】
- ・ より好条件の企業へ人が流れており、経験を有する技術職など求める人材を確保できていない。派遣や非正規雇用の従業員も賃金を上げないと集まらない。【電気機械・大・福岡】
- ・ スーパーでの人手確保は、宿泊・飲食業との競争が生じていることから困難を極めている。加えて電気代の高騰により利益を圧迫されているため省人化を進めていきたい。【スーパー・中小・東海】

注) 各財務局は企業等へのヒアリングを主に令和5年3月中旬から4月中旬にかけて実施。

# 各地域の「先行き」（令和5年4月）

北海道	先行きについては、ウイズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。
東北	先行きについては、ウイズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、海外経済の動向、物価上昇、供給面での制約等の影響に十分注意する必要がある。
関東	先行きについては、ウイズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。
北陸	先行きについては、ウイズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。
東海	先行きについては、ウイズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が緩やかに回復していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。
近畿	先行きについては、ウイズコロナの下で、各種政策の効果もあって、持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外経済の下振れが景気の下押しリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。
中国	先行きについては、ウイズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。
四国	先行きについては、ウイズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。
九州	先行きについては、ウイズコロナの下で、各種政策の効果もあって、回復していくことが期待される。ただし、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。
福岡	先行きについては、ウイズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。
沖縄	先行きについては、ウイズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気の持ち直し傾向が続くことが期待される。ただし、物価上昇、供給面での制約等の影響に十分注意する必要がある。

問い合わせ先

財務省大臣官房総合政策課

東京都千代田区霞が関3丁目1番1号

Tel. 03-3581-4111 (内線) 2252, 2225

財務省ホームページ <https://www.mof.go.jp/>